

安住寺だより



禅の心

第154号

発行 安住寺（年4回発行）

臨済宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 TEL 0978-62-2680

編集 矢野明玄

印刷 安住寺コピー室

URL <http://www.anivuii.net/>

無縁供養 説教会

22日 午後一時 卒塔婆供養

(金) 午後二時 説教

23日 午前十一時 合掌会総会

(土) 午後一時 卒塔婆供養

午後二時 説教

午後三時半 総供養施餓鬼

4月

布教師 東京都あきる野市 廣済寺住職

渡邊宗禅師

卒塔婆供養料、一本五百円です。出るだけ事前の申込をお願いします。



いつお寺に参るん？

三寒四温と言います。ひと雨ごとに春の気配が増してきました。矢張りお彼岸が過ぎないと本当の春にはなりません。今年も左表のとおり無縁供養・説教会法要が厳修されます。是非お参り下さい。年間を通じて檀信徒の皆



昨年の説教会の様子です。

安住寺仏教大学？に学ぶ、善男・善女の皆様。

さんに参拝をお誘いする行事は、一月の大般若、説教会、八月三日の大施食会の三つです。これらの行事にまだ一度も出席したことが無い方が随分おられます。タクシーで何千円も掛ければ別ですが、歩いて来れる程近くに住んで居てもです。家族の誰かが代表でお参りするからいいじゃないかと思っているのでしょうか。「和尚さん、孫に手がかからなくなつたら行きますワ」とおつしやつた方が居ました。もうそろそろ来るのかナ、と待っていたら「足が悪くて一人じゃ行けんごとなつた」と。他にも毎月の行事もあります。「そのうちに」と言わず、元気な内にお参り下さい。仕事を休んで進んでお

参りされてる方も居られますヨ。嫌味なことを書いてスミマセン。
『花嫁も杖つく雪のあしたかな』
そのうちにと思っていてても、すぐに歳を取りますヨ、という古歌。

法句経第一八二番

ひとの生を

うくるはかた

やがて死すべきものの

いま命あるはありがたし

正法を

耳にするはかた

諸仏の

世に出づるも

ありがたし

亀山法皇御製

火のなかを わけても法は

きくべきに

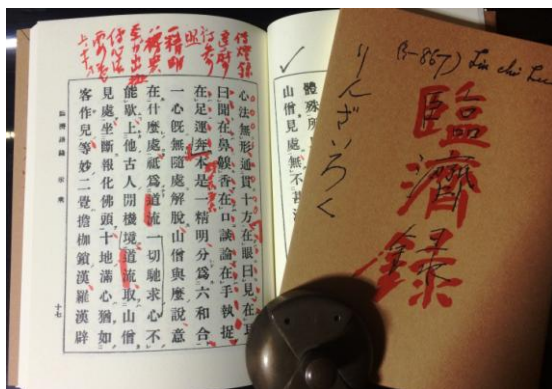
雨と風とを いたうべきかは

南禅寺開基の亀山法皇は、母・大宮院の住居を寄進し、東福寺の大明国師を請じて禅林禅寺を建立しました。後の南禅寺です。御製のお歌には、世は戦であろうが、暴風雨であろうとも仏法を聴きなさい。その為に寺院、すなわち仏法を聴く、学ぶ場所を創ったのです。安住寺とて同じだと思えます。供養の場であると同時に修行の場でもあります。沢山のご寄付をして頂いたお堂ですヨ。生かして下さい。
(閑栖記)

「禪—いまを生きる—」

臨済宗では葬儀の時に引導法語を唱え、最後に死者の迷いを断ち切り、悟りの世界へと導くために「一喝」を入れる。この臨済の喝は宗門の正法と言える。

臨済禅師は常に「人あり、如何なるかはれ仏法的々の大意」と問えば、即ち大喝一声、「喝！」と言われたという。



管長猊下施本・松ヶ岡文庫所蔵『校訂 臨済録』

『臨済録』に、この喝の働きを四つに示した、「臨済の四喝」がある。

師、僧に問う、有る時の一喝は、

こんごうおうほうけん

金剛王宝剣の如し。有る時の一喝

こじんも

は、踞地金毛の獅子の如し。有る

時の一喝は、探竿影草の如し。有る時の一喝は、一喝の用を作さず。汝作麼生か会す。僧疑議す。師便ち喝す。

有る時の一喝は、金剛王宝剣の如し。なんでも切ってしまう名刀の如く、煩惱・妄想や思慮分別をことごとく断ち切る「喝」

有る時の一喝は、踞地金毛の獅子の如し。金の毛にまとわれた獅子中の獅子。その獅子がうずくまり言を発し、気を吐く姿は、百獣を寄せ付けず、衆魔も打ち砕く凄みがある。そのような「喝」

有る時の一喝は、探竿影草の如し。探竿とは、竿の先に鵝の羽根をつけたもので、水中を探って魚を浮草の下に集めて捕る魚具をいう。つまり、相手の様子をうかがいながら一喝し、本物が偽物かをみる「喝」

有る時の一喝は、一喝の用を作さず。一喝の用を作さず。これは自然のまま、何の造作も意図も加えない一喝。これこそ、無喝の喝ともいうべき最上級の喝と言われるもので、臨済一喝の妙処を説いている。

この四喝は臨済の一喝の四用を説いたもので、一喝は単に一喝で

なく、一喝の中には天地乾坤を含み、八万四千の法門を放つともいわれる。



去る三月十日、宗祖の臨済義玄禅師1150年、中興の祖白隠慧鶴禅師250年の遠諱大法要が、京都市東山区の臨済宗東福寺法堂に、臨済禅師像、白隠禅師像が運び込まれた上、各派の管長や師家一般参列者計約350人が見守るなか営まれた。

導師は、南禅寺派管長の中村文峰老大師がおつとめになられた。

文峰老大師は、昨年四月から一年間にわたって『臨済録』を講義され、この大法要に臨まれた。残念ながら私はこの法要に参列することはできませんでしたが、参列した仲間の和尚から、お元気に導師をおつとめいただいた報告と法

要の写真を頂いた。



さて、数日後南禅寺本山より、公益財団法人松ヶ岡文庫所蔵の『校訂 臨済録』再刊本が、この遠諱の施本として、送られてきた。管長猊下たつての発願とお聞きした。四喝の最後に「汝作麼生か会す。僧疑議す。師便ち喝す。」とある。「さあ、汝はこの四喝をどのように会得した。との間に詰まった僧は、臨済禅師に一喝される。」

管長猊下から送られてきた、『臨済録』は探竿影草の「喝」や無喝の「喝」を含む、叱咤激励の「喝」に思えてなりません。

本物の供養

「供養」を調べてみると、サン・スクリット語のプージャーまたは puja (プージャー) の訳で、仏、菩薩、諸天などに香・華・燈明・飲食などの供物を真心から捧げること。

あるいは、死者・祖先に対する追善供養のことを特に供養ということが多い。また動物等に対する供養、針供養や人形供養といった形の供養もある。

法事で、故人の位牌の前に可愛らしい地藏菩薩のはがき絵が飾られてあった。絵には「故人の笑顔を思い出して・・・」とあった。

聞けば、近所の方が毎月命日にはがき絵をお供えしお参りしてくださるとのこと。若くして亡くなった、故人の面影が伝わるはがき絵を見ながら、はがき絵をお供えされた方の、慈愛と真心を感じました。

法事の際、皆さんは何をお供えますか？ご仏前・お花・果物やお菓子？それとも私の読経の声でしょうか？

形は様々ですが、目には見えない真心の添えられた「本物の供養」をして差し上げたいものです。

京都国立博物館

特別展の紹介

平成二十八年四月十二日～五月二十二日まで、臨済禅師千五百年、白隠禅師二百五十年遠諱を記念して、京都国立博物館・平成知新館にて「禅—心をかたち—」と題して展覧会が開催されます。

《展覧会の見どころ》

およそ一五〇〇年前、菩提達磨によってインドから中国へ伝えられたとされる禅宗は、その一派である臨済宗・黄檗宗の宗祖、臨済義玄(？～888)によつて広がり、我が国には鎌倉時代にもたらされました。武家のみならず、天皇家や公家、さらには民衆にまで広く流布し、日本の社会と文化に大きな影響を与えました。最近では欧米の人々の中にも「ZEN」の思想が広がっています。

特定の経典を持たない禅宗では、その教えは言葉や文字によらず、師の心から弟子の心へと、以心伝心で受け継がれてきました。その修業は坐禅を中心に置かれますが、日常生活の行いやふるまいすべてが修行の一環として重視され、禅問答を通じた師と弟子の心の交流を経て、悟りの境地へと至ります。

禅

心をかたち—

2016年4月12日(火)～5月22日(日)

臨済禅師1150年
白隠禅師250年遠諱記念



国宝 唐可高賢像 雲南軍 部分 雲南 雲南寺
(展示期間: 5/3-5/22)

本展は、臨済義玄の没後一一五〇年、さらに日本における臨済宗中興の祖である白隠慧鶴(1088～1188)の没後一五〇年の遠諱を記念して開催します。臨済・黄檗両宗十五派の全面的な協力のもと、禅僧の肖像画や仏像、書画、工芸などを一堂に集め、国宝約二十点、重要文化財約百点を含む約二百二十点の名宝の数々で展覧します。禅の真髄に触れる貴重な機会となるでしょう。(京都国立博物館HPより引用)ご覧になってはいかがでしょうか。

【日々是好日】

● 一月十七日当山・安住寺の大般若に始まり、二月五日千光寺(市内本庄) 三月一日龍雲寺(大分白木)の大般若法要にお参りし、今年の息災を祈願いたしました。

● 今年に入り座禅会では、坐禅の後に禅の語録を読んでいます。難解な禅の語録ですが、わかりやすい資料をもとに短い時間で解説しています。現在は「無門関」です。興味のある方はご参加ください。

● 四月四・五の予定で、子供四人が本山で行われる合同得度式に参加します。下の双子も四歳を前に言葉も増え活発になってきました。

● 五月十八～二十日に開催の、住職副住職研修会に参加してまいります。

● 六月二～四日、南禅会本部女子研修会が開催されます。本年の県内担当寺院は安住寺です。人員は二名です。参加希望がありましたらお申し出ください。

● 後継者の問題、お墓・葬儀の問題等々、行政だけでは解決しない問題もたくさんあります。私もご相談を受けて、はじめて調べたり考えさせられることもあります。お困りのことがございましたら、ご相談ください。

● 寺報154号、皆で読もう 「安住寺だより」



廣石碩田先生筆

「年豊人楽」

「桃花春風に笑む」

あの津波が押し寄せた日、石巻市立門脇小学校の鈴木洋子校長が朝会で生徒に話した言葉です。春は、自然

あれから五年経った
た
くさんの人が亡くなった
家も田んぼも松林も無くなった
町がなくなり 店も病院も
働く場所も無くなった
学校が無くなり 子供が居なくなった
三年経ったら再建できると期待して
たのに 五年も経ってしまった
希望も 気力も萎えてしまう

に巡ってくると言う意味です。生徒には「つらいこと
苦しいことは、あなたたちが
生きる上でたくさん押し
寄せて来るだろうけど、一
生懸命生きていけば春はき
つと来るんだから云々」と
話したそうです。その日の
午後、大地震と津波、そし
て火災に見舞われたのでし
た。何という運命でしょう
か。本年三月末、門脇小学
校は閉
校にな
ります。

祝

中村良吉さん百歳



ご家族とホームの職員さんと共に記念の日

とのいれ年め
存皆を、一頂永
じ様受永月いく
ますとけ松五た安
。共ら悟日、住
。祝に杵中寺
意しま市百良の
をた長歳吉代
表。よをさん等
し檀り迎を
たい信おえが
い徒祝ら本勤



の改築工事が進
で良工事が進
難い。石山ダム
架かる橋の中
す。大きな橋に
番。大きな橋に
でしよう。

石山ダム架橋工事

きつきの風景

東日本大震災義援金報告

27年度の支援結果

現金(日赤扱い) 70,000円
物品購入代金 66,214円
(内お賽銭 113,562円)

今回は、陸前高田市の物産を購入しました。説教会の参拝者にお配りします。

これまでの合計金額 1,003,708円
(内お賽銭 561,447円)

28年度もお賽銭の全額を義援金として送る予定です。引続きご協力をお願いします。

御詠歌
4/8、4/18、5/6、 5/17、6/7、6/17、 7/7、7/18
坐禅会 6時～
4/9、4/30、5/14、 5/28、6/11、 6/25、7/9、7/23
写経会
4/25、5/20、 6/21、7/21

毎月の行事

場合によって、変更することもあります。

四月五日	本山得度式
四月八日	花祭り(降誕会)
四月八日午後	花祭り講演会(市仏教会)
四月二十二日	無縁供養・説教会
四月二十三日	合掌会総会・説教
五月七日	独秀流御詠歌全国大会
五月二十四日	世話人引継と決算報告
六月二、四日	南禅会本部女子研修

行事予定



昨年も好天で和やかな
花見でした

今年もお花見をする予定です

4月3日(日)お昼頃 藤ノ川中尾の桜園でお花見を
します。閑栖和尚が行く予定です。おにぎりや飲み
物持参でお出かけ下さい。(雨天の時は晴れ次第)